

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	排水設備事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	下水道建設課				
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進	主管課長	池田 輝昭				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	排水設備設置義務者	意図	適正な排水設備の設置。
事業内容	排水設備計画に係る申請内容の確認と完了検査を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	公共下水道供用開始区域内の拡大（土地区画整理事業区域）により排水設備申請件数は増加していたが、ここ数年は、件数は横ばい状態にある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	排水設備に関する申請件数	1,474	1,686	1,604	件	↑	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 公営企業会計後、当該業務は委託している。上水道と併せた業務委託をすることでより経費の削減と効率性が図れる。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,628,419	9,555,760	10,992,428				
事業費(b)(円)		1,628,419	8,869,260	9,784,268				
うち一般財源		1,628,419	8,869,260	9,784,268				
職員給与費(c)(円)			686,500	1,208,160				
人役・職員(人)			0.10	0.18				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					
		コストの削減	C 削減の余地が大きい			

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	排水設備の申請から完了検査までの業務を民間委託しており、委託経費の削減の検討を行う。	③取組の課題	申請及び完了検査の立会を申請人を代行して行う指定工事店への指導について、市として、今後は積極的に努めていきたい。
②今年度(H29)に実施した取組	排水設備の誤接続を防止するため、完了検査を強化した。	④今後(H30以降)の改善計画	今後は上水道の委託と統合することで事業経費等の合理化を図る。